

学校評議員会 議事録

校名	大阪府立水都国際中学校・高等学校
校長名	太田 晃介

開催日時	令和7年12月17日(月)18:00～19:00
開催場所	大阪府立水都国際中学校・高等学校(新校舎)2階会議室
出席者(委員)	國守正二、佐々木純也、菅野正嗣、蘇美花(オンライン参加)、福井崇之(オンライン参加)、藤本哲
出席者(学校)	太田晃介、ジョン・ボディング、佐藤吾朗、大山達也、日出裕加里、林健太郎、山根一毅
傍聴者	なし
意見聴取に係る資料	資料1～資料7
備考	

議題等(次第順)	
<p>1. 校長挨拶</p> <p>2. (1)令和7年度第1回学校評議員会議事録確認 (2)令和7年度学校中間評価について(中学校・高等学校) (3)その他</p> <p>3. その他 副校長挨拶・閉会</p>	
<p>1. 校長挨拶・学校説明(太田)</p> <p>・本校の生徒たちは、日々の学習や活動を通じて着実に成長しています。今年度は現在までに約70件の行政視察を受け入れましたが、多くの視察者が「生徒たちの表情が非常に豊かで、生き生きとしている」と驚かれます。これは本校の教育環境が、生徒の主体性を引き出している証左であると感じています。また、次年度に向けイタリアの学校との国際交流プログラムの準備が進んでいるほか、来年3月には三菱みらい育成財団の助成を受け、生徒たちによるザンビアでの教育支援研修も実施予定です。こうした本校らしい挑戦を、引き続き加速させてまいります。</p> <p>2.</p> <p>(1)前回議事録確認 ・前回(第1回)の議事録について内容の確認を行い、異議なく承認されました。</p> <p>(2)令和7年度 学校経営計画中間報告</p> <p>【中学校の進捗状況(大山教頭報告)】</p> <p>学力指標(TD2評価)：令和9年度までにCDゾーン(課題層)を10%以下に維持する目標に対し、今年度は約2%と極めて良好な数値を維持。基礎学力の定着が確認されました。 英語運用能力(G-TELP)：中1のA1レベル取得率は100%を達成。中2のA2レベルも5月の59%から11月には94%へ、中3のB1レベルも50%に達するなど、学年を追うごとに着実な伸びを見せています。 国際交流活動：8月にマレーシア・サラワク州への派遣を実施し、現地大学訪問やホームステイを経験しました。また、セブ島語学研修には定員30名を上回る38名の応募があり、生徒の意欲の高さが伺えます。 生徒支援体制：スクールカウンセラーの常駐化により、中1の環境変化への相談から中3の進路不安まで、早期のケアが可能となっています(12月までで延べ34件)。 保護者連携：保護者準備会による「制服リユース活動」が実施され、54点の制服が次世代へ繋がるなど、開かれた学校づくりが具体化しています。</p> <p>【高等学校の進捗状況(佐藤教頭報告)】</p> <p>IB(国際バカロレア)の成果：高校3年生のIBコース生19名全員がフルディプロマを取得。平均スコアは34点と世界平均を大きく上回る高水準であり、本校のIB教育の質が証明されました。 進路指導の多様化：総合型選抜への挑戦を積極的に支援しています。単に合格を目指すだけでなく、自ら問いを立て、学問的スキルを磨くプロセスを重視しています。 国際連携の拡大：ASEAN12カ国からの視察団受け入れや、イタリアの学校との協定締結準備など、交流国を多角化させています。 勤務環境の整備：毎週金曜日の定時退勤日設定や、18時30分の完全施錠を徹底。教職員が心身ともに健康で教育に専念できる環境を構築し、それが生徒への教育の質向上に繋がっています。</p> <p>(3)その他 ※学校評議員との意見交換・質疑応答</p> <p>・IBコースへの希望者が増えているとのことですが、選抜や定員の考え方を教えてください。【当校回答】IB教育は少人数でのきめ細かな指導が不可欠であり、本校の現在の実施体制(予算・教員数)では1学年25名程度が限界です。そのため、一定の英語スコアや評定基準を設けています。本校の特徴は、入学試験で全てを決めるのではなく、高1の2学期まで「IB事前学習」を通じて生徒が適性を見極め、自らの意志で選択できる点にあります。 ・進路選択の幅が広がる一方で、入試制度の複雑化に不安を感じる保護者もいます。より丁寧な情報提供を求めます。また、発達特性を持つ生徒への大学入試での配慮等についても、学校としての知見を共有いただけると助かります。【当校回答及び評議員からの助言】入試制度の多様化については、説明会の実施を含め、今後も情報発信を強化します。発達支援に関しては、法人内の専門スタッフと連携し、教職員のカウンセリングマインドを高めています。大学の教育現場では、試験時間の延長や別室受験などの合理的配慮の窓口が必ず設けられています。生徒の特性に応じ、大学側と丁寧な対話を重ねることが肝要です。 ・生徒が住之江区役所や大阪大学と連携し、地域魅力発信に取り組んでいる姿は非常に頼もしい。今後も地域と共に歩む学校であってほしいと願っています。</p> <p>3. その他</p> <p>・アカデミック・フェア：2月7日(土)開催。生徒の探究成果をぜひご覧ください。 ・次回(第3回)評議会：3月中に開催予定。日程は改めて調整いたします。 ・副校長より「IBプログラムだけでなく、学校全体160名の生徒それぞれが自分らしい進路を切り拓けるよう、教職員一丸となって取り組んでいく」との決意が述べられ、閉会となりました。</p>	
次回会議日程	
日時	令和7年 3月(未定)
会場	大阪府水都国際中学校・高等学校(新校舎) 2階会議室